

# PLAY TRUE 2020

Living Legacy

多様なスポーツの価値を通じた未来を創る  
～レガシーの創出を未来につなぐ～



# 1

## INTRODUCTION

### PLAY TRUE 2020とは

- 2 PLAY TRUE 2020, Sport for Tomorrow

### PLAY TRUE Creators

- 4 Athletes
- 5 Clean Sport Community
- 6 Youth
- 7 Public

### PLAY TRUE Planet: SPORT & ART

- 8 世界の人々のスポーツの「真実」を表し、共有するアート

# 2

## FOR FUTURE

### Journey

- 10 PLAY TRUE 2020の軌跡

### Messages

- 12 スポーツ庁: 室伏広治長官  
WADA: Witold Bańka 会長
- 13 JADA: 鈴木秀典会長

# 3

## OUTPUTS

### PLAY TRUE 2020 Overview

- 15 Sport for Tomorrow ~東京2020に向けた日本のスポーツ国際貢献レガシー事業~
- 16 Mission ~スポーツの価値、レガシーを未来につなぐ~
- 17 Vision & Strategy

### 機会

- 18 PLAY TRUE リレー
- 20 IFパートナーシップ: 教育、アスリートエンゲージメント
- 21 クリーンな東京2020大会を目指したパートナーシップ: 情報提供

### コンテンツ

- 22 リアルチャンピオン教育パッケージ
- 24 リアルチャンピオン教育パッケージを通じた人材育成
- 25 調査研究活動  
Sport for Tomorrow 会員団体とのコラボレーション

### リソース

- 26 国際セミナー
- 28 国際会議・国際セミナーの開催を通じたクリーンスポーツの世界的な推進
- 29 キャパシティディベロップメント



# PLAY TRUE 2020, Sport for Tomorrow

Sport for Tomorrow (SFT)は、東京2020大会のレガシー事業として、日本政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業です。  
“PLAY TRUE 2020”は、そのSFT事業の3本柱のひとつです。

SFTの3本の柱とは、

- 1) スポーツを通じた国際協力及び交流
- 2) 国際スポーツ人材育成拠点の構築
- 3) PLAY TRUE 2020:国際的なアンチ・ドーピング推進体制の強化支援

東京2020大会の開催が決まった直後・レガシー事業の開始当初から、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)は日本政府の委託を受け、“PLAY TRUE 2020”の名の下に、レガシーを創出しています。  
“PLAY TRUE 2020”を通じて創り上げるレガシーを当初から「生きた」レガシーとして、東京2020大会を終えた後も引き継いでいくことを目指してきました。

アンチ・ドーピング活動/クリーンスポーツ環境構築への取り組みが、大会のレガシー事業の主要な柱として位置付けられるのは、大会史上初めてのこと。  
世界アンチ・ドーピング機構(WADA)、東京2020組織委員会、国際オリンピック委員会(IOC)、国際パラリンピック委員会(IPC)、国際検査機関(ITA)、国際競技連盟、国内/地域アンチ・ドーピング機関、各種教育機関等に加え、世界中の様々な競技レベルのアスリートやスポーツ愛好家などと共に活動しています。

PLAY TRUE 2020では、「TRUTH in Sport, TRUTH in ME」として、スポーツの真なる価値を、真なる想いで発信し続けています。

みんなのスポーツの価値、スポーツの真実  
Values of sport are in bloom!



# 「スポーツの価値」を共に世界に発信する

PLAY TRUE Creatorsとは、PLAY TRUE 2020と一緒に推進し、「スポーツの価値」を世界に発信してきた仲間たちのことです。



アスリートが「スポーツの真実 / TRUTH」をつなぐ

# Athletes

# Clean Sport Community

クリーンでフェアなスポーツ環境を創る



# Youth

スポーツの価値をつなぐ  
未来のリーダーを育成する



スポーツの多様な価値を  
社会の多様な価値に

# Public

# 世界の人々の スポーツの「真実」を 表し、共有するアート



「PLAY TRUE Planet: SPORT & ART ~スポーツの未来を創るブース~」を、東京2020大会期間中（パラリンピック競技大会期間のみ）に、東京2020組織委員会が主催するウォーターフロントシティのFAN ARENAに出展しました。  
※オリンピック競技大会期間は、大会の無観客開催に伴い中止  
※代々木公園など、パブリックビューイングの場での実施も中止



このブースは、スポーツの価値の発信基地として、これまでPLAY TRUE 2020で実施してきたPLAY TRUEリレーやi-PLAY TRUEリレーのプロジェクトを通して集まった「スポーツの価値」のメッセージや、「スポーツの真なる心」を映し出すフィルターボーズの写真を、世界でたった1つのアート>にして展示。

ブースの運営には、スポーツの価値を体現し、世界に発信するオリンピック・パラリンピアンに加え、SFTコンソーシアムに加盟する大学の大学生・大学院生たちも“PLAY TRUE Creator (PTC)”として参加。東京2020大会期間中に、スポーツの価値を考え・共有する機会を創り、国内外に広く発信しました。ブース来場者が、世代を超えた世界中のアスリートや様々な人たちのスポーツの価値のメッセージに触れ、PTCアスリートからスポーツの価値に関する経験や自身の想いを直接聞き、非接触型アクティビティ体験を通して、多様な価値から自身の「真なるスポーツの価値」を見出しPLAY TRUE Planetに投函。世界からデジタルで参加したメッセージと、自身のメッセージがその場で融合され、アート化されていく経験をしました。



Access!



◀ みんなで創る SPORT & ART  
<https://playtrue2020-sp4t.jp/sport-art/>



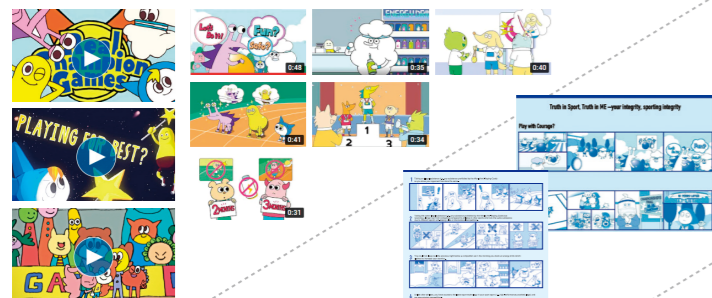
◀ 自分の想うスポーツの価値のメッセージが投函できるPLAY TRUE Planetサイト  
<https://playtrueplanet.jp/>



# PLAY TRUE 2020の軌跡

PLAY TRUE 2020では、様々な教材を開発・展開、  
スポーツの価値を守り育む各種の活動を行ってきました。  
各国のアンチ・ドーピング機関や国際競技連盟と連携し、  
国際競技大会等でアスリートらのエンゲージメントを推進してきました。

マンガムービーシリーズ



Based on Values

Based on Rules



PLAY TRUE リレー公開

2015

リアルチャンピオン  
教育パッケージ

2014

PLAY TRUE 2020  
始動

2013

東京2020  
決定



製薬業及びアンチ・ドーピングに  
係る国際会議

2016

NewMO!誕生

PLAY TRUE 2020 Week  
札幌  
MOU締結  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

2017

2017

スポーツ  
ファーマシスト制度  
導入検討:ヨルダン

カンボジア

ベトナム  
クリスポーツ・プログラム推進

2018

2018

NOC/NPC, Medical Open Days

ヨルダン

FIVB

IFパートナーシップ

ブルネイ

マレーシア

WPV

IWF

IBSA

2019 ラグビー W杯

2 Years to Go  
for Tokyo2020

ロシア

ブルネイ

WR

WPP

IIHF

WBSC

SPORT & ART



スポーツの価値のアート化

東京2020  
開催

2021

2020

PLAY TRUE Planet公開

i-PLAY TRUE リレー  
ローンチ

2019

WADA常任理事会&国際セミナー開催

2019 ラグビー W杯

タイ

フィリピン

MOU締結:  
西アジアRADO

ITA

ITF

WWR

FIG

ISU

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

ASEANスポーツ大臣会合  
@ミャンマー

ASEANスポーツ大臣会合  
@ミャンマー

ASEANスポーツ大臣会合  
@ミャンマー

ASEANスポーツ大臣会合  
@ミャンマー

ASEANスポーツ大臣会合  
@ミャンマー

ASEANスポーツ大臣会合  
@ミャンマー

ASEANスポーツ大臣会合  
@ミャンマー

MOU締結:  
中央アジアRADO

MOU締結:  
西アジアRADO

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA

MOU締結:  
東南アジアRADO X  
Tokyo2020 X JADA



PLAY TRUE Planet: SPORT & ART  
- スポーツの未来を創るブース  
FAN ARENA青海 / PLAY TRUE Planet Liveサイト /  
東京都ライブサイトステージ



"PLAY TRUE リレー"  
世界のアスリートたちの  
「TRUTH in Sport & ME」

1. 室伏広治
2. Jineiry Martinez
3. Claudia Bokel
4. Ben Sandford
5. Eilish McColgan

6. Rafael Soares Silva
7. Nurbek Toichubaev
8. Jonathan Tan & Glen Lim
9. K. C. Deepak
10. Nguyen Thai Binh

11. 高橋礼華 & 松友美佐紀
12. Marsha Cox
13. 吉田沙保里
14. Chelsey Gotell
15. 渡部暁斗

16. 大池水杜
17. Barbara Kendall
18. Heinrich Popow
19. Pita Taufatofua
20. Marija Šestak

21. Sebastian Coe
22. 上地結衣
23. Jessica Pilz
24. Roger Jackson
25. Chen Yibing

26. Jeong Min Lee
27. Jessica Fox
28. Felicia Grimmerhag
29. Sergi Samper
30. 山下泰裕

PLAY TRUE リレー  
WEBサイト





**室伏広治**  
スポーツ庁長官

東京2020大会に向けて政府が2014年に開始したスポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）は、スポーツを通じた国際協力・交流に関する官民連携のネットワークを構築・発展させつつ、204の国と地域の人々1,300万人以上にスポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げてきました。（2021年9月末時点）

SFT事業の柱の一つとして、国際的なアンチ・ドーピング推進体制の強化支援が位置づけられました。「PLAY TRUE 2020」と名付けられたこの取り組みでは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が中心となり、人材育成支援、教育パッケージの導入・普及、国際セミナーの開催等を行ってきました。これらの活動を通してクリーンでフェアなスポーツ環境を整備し、スポーツの価値を守るといった世界的ムーブメントの推進に貢献できたと考えています。

PLAY TRUE 2020のもとでのこれらの取組で、WADA、IOC、IPC、ITAそして各国・地域のアンチ・ドーピング機関との密接な連携・協力関係が培われたことは重要なポイントです。このような関係が構築された結果、本事業の取り組みについてより多くの人々に働きかけたことで、日本からクリーンでフェアなスポーツについてメッセージを発信できたことは大きな成果でした。

本プロジェクトを通じた取組の成果や、構築してきたパートナーシップは、かけがえのないレガシーです。今後もこのレガシーを共有し、活用していくことで、国際的なアンチ・ドーピング体制の強化につなげていけるものと確信しています。

フェアでクリーンなスポーツを守るため、スポーツ庁としても、皆様とともに、引き続きドーピング防止活動の推進に取り組んでまいります。



**ヴィトールド・バンカ**  
President, World Anti-Doping Agency (WADA)  
世界アンチ・ドーピング機構 会長

JADAは、長年にわたってアジア・オセアニア地域のリーダーとして、ワークショップや国際セミナー等を始めとして様々なプロジェクトの実施を通じてアンチ・ドーピングのキャパシティ育成へ貢献してきています。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホスト国のアンチ・ドーピング機関として、アンチ・ドーピングとクリーンスポーツに対するポジティブな影響を与える様々なレガシープロジェクトを実施してきました。

PLAY TRUE 2020, Sport for Tomorrowを含むこれらの取り組みでは、アスリートやサポートスタッフなど関係者のための教育的な教材を開発するだけでなく、アスリートや世界中の人々を巻き込んでi-PLAY TRUE リレーといったプロジェクトも同時に展開していました。

レガシー事業の中心に、アンチ・ドーピングやスポーツの価値が位置づけられました。それは、オリンピック・パラリンピック競技大会史上初めてのことで、このことから、クリーンスポーツ、特に教育分野においては、この東京2020大会での成功事例から得るものは大きいと考えます。

このレガシーは今後の大会にも継承されていくことを信じており、このような世界的なアンチ・ドーピングムーブメントに対する多大な貢献に対して、日本国政府およびJADAにとっても感謝しています。



**鈴木秀典**  
日本アンチ・ドーピング機構 会長

Sport for Tomorrow (SFT) は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、日本の官民連携によるスポーツを通じた国際貢献を目的とした事業として、2014年より開始されました。日本アンチ・ドーピング機構（JADA）は、SFTコンソーシアム運営委員会の一員として、主たる3つの活動領域の一つである国際的なアンチ・ドーピング推進体制の強化支援事業PLAY TRUE 2020を、8年間に亘り担って参りました。特にアジア・オセアニア地域のアンチ・ドーピング活動を中心に、クリーンでフェアなスポーツの発展を支援してきました。

クリーンスポーツを目指した国際的アンチ・ドーピング活動の推進が、オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー事業の主要な柱として位置付けられたことは、オリンピック・パラリンピック史上初めてのことで、これは、JADAにとって大変光栄なことであり、誇りをもって本事業を推進して参りました。

PLAY TRUE 2020では、WADA、IOC、IPC、ITA、国際競技連盟、東京2020組織委員会、各国アンチ・ドーピング機関をはじめとしたアンチ・ドーピングコミュニティの方々だけでなく、世界中のアスリート、サポートスタッフ、スポーツ愛好家や子どもたちと一緒に、アンチ・ドーピング活動を通して守り育てていきたい「スポーツの価値・チカラ」を、世界に発信してきました。世界中の様々な方々が心の中に抱いている「スポーツの価値」、「スポーツから感じるチカラ」を「SPORT & ART」として目に見える形にして、未来に伝えたいそれぞれの「真なるスポーツ - True Sport」への想いを繋げてきました。

スポーツの原点にある「スポーツの価値・チカラ」に私たちが今一度立ち戻ることで、一人一人がスポーツについて考え、共有し、発信し、スポーツの新しい未来を創っていくことができると信じています。

COVID-19感染症の世界的な蔓延によって、東京2020大会が1年延期されるという困難な状況の中、スポーツ庁をはじめとする日本国政府、そして世界中の方々の多大なご支援に支えられ、PLAY TRUE 2020レガシー事業を遂行することができました。改めて、すべての皆様に深く感謝申し上げます。

PLAY TRUE 2020を通して拡げてきた「スポーツの価値・チカラ」の発信を絶やすことなく、様々な活動を通してレガシーとして継承して参りたいと思います。すべての方々が「真なるスポーツ - True Sport」への想いを抱き、自己実現や健康的な生活を送ることができるよう、今後もより一層尽力する所存です。



# 東京2020に向けた 日本のスポーツ国際貢献レガシー事業 Sport for Tomorrow

## SFTとは？

Sport for Tomorrow (SFT) は、2013年にブエノスアイレスで東京2020大会が決定した際に国際的に約束した日本国政府のレガシープロジェクトです。SFTでは、開発途上国をはじめとする100カ国以上の国において1,000万人以上を対象に、世界のより良い未来のために、スポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていくことを狙いとしています。

SPORT  
FOR  
TOMORROW

## SFTの3本の柱

SFTは、1) スポーツを通じた国際協力及び交流、2) 国際スポーツ人材育成拠点の構築、3) PLAY TRUE 2020 — 国際的なアンチ・ドーピング推進体制の強化支援を3つの柱として、スポーツを通じた国際貢献に携わる官民の団体が構成されるSFTコンソーシアム会員で推進されています。東京2020大会決定前から、JADAは日本のクリーンでフェアなスポーツ環境を守り育てるだけでなく、アジアを中心とした国内外のクリーンスポーツ環境を育み、その環境を守る人材を育成してきました



## フェアでクリーンな大会に向けて

JADAは、東京2020大会の主催者である国際オリンピック委員会 (IOC) およびその委託を受けた第三者機関である国際検査機関 (ITA)、国際パラリンピック委員会 (IPC) と、東京2020大会組織委員会と共に大会におけるアンチ・ドーピング活動を担いました。大会のホスト国のアンチ・ドーピング機関である日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) は、東京2020大会組織委員会と覚書を締結し、大会開催決定時より密に連携して様々な活動を展開してきました。

### プレスリリース



◀ 公正でクリーンな東京2020大会の実現に向けた JADA のコミットメント  
<https://www.playtruejapan.org/topics/2021/000516.html>



◀ 東京2020パラリンピック大会に向けたアンチ・ドーピング活動における協力覚書の締結  
<https://www.playtruejapan.org/topics/2021/000518.html>

PLAY TRUE 2020  
Overview

# スポーツの価値、レガシーを未来につなぐ

「PLAY TRUE 2020」は、  
スポーツの価値を通して未来のリーダーを育て、  
より良い社会・未来を創ることを目的としています。

オリンピック・パラリンピック競技大会史上初めて  
クリーンでフェアなスポーツ、  
スポーツのインテグリティを守り育む、  
アンチ・ドーピング活動がレガシープロジェクトとして位置付けられました。

JADAはPLAY TRUE 2020を通して、  
すべての人がスポーツの価値を創ることへの参画を進めてきました。

PLAY TRUE 2020は、  
アスリートや世界中の人々が、スポーツの価値、  
スポーツのインテグリティを守り、  
スポーツの社会的な価値を発展させることを目指しています。

一人一人が生み出すレガシーを、未来へ。

# Mission

## Our Mission / ミッション

スポーツを通して社会課題の解決、より良い未来を創るために

- 1 スポーツの価値・チカラを守り育む
- 2 スポーツの価値・チカラを守り、持続可能な環境を整備する

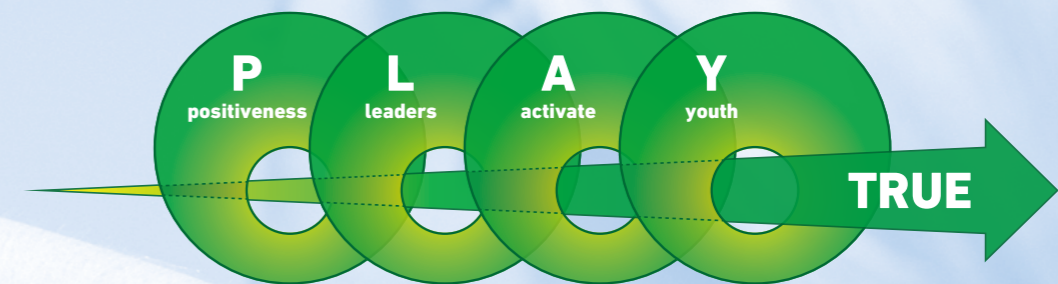
## Outcome / 目指すアウトカム

- 1 スポーツのインテグリティを守り育み、スポーツの価値やオリンピック/パラリンピック・ムーブメントが365日1年中を通した価値のあるものとする
- 2 日本がリードネーションとなることにより、スポーツを通して世界にその影響力を与える
- 3 スポーツのチカラ・価値を体現できる人材が育ち、社会に輩出される

# Vision & Strategy

## Our Vision / ヴィジョン

“PLAY” = Positiveness, Leaders, Activate, Youthのキーワードを  
1つの真髄としての「True」でつなぎ、スポーツのチカラを未来につないでいく



## Strategy / 目的を達成するためのプロジェクト上での戦略

- 1 東京2020大会を通じた生きたレガシーを創出する
- 2 すべての人がスポーツの価値を体現し、スポーツの未来を創ることへの参画ができる
- 3 SDGsの達成目標に貢献する
- 4 世界のクリーンスポーツ環境の整備を通して、アスリートの健康・権利を守る

## Strategic Areas: シナジーの創出





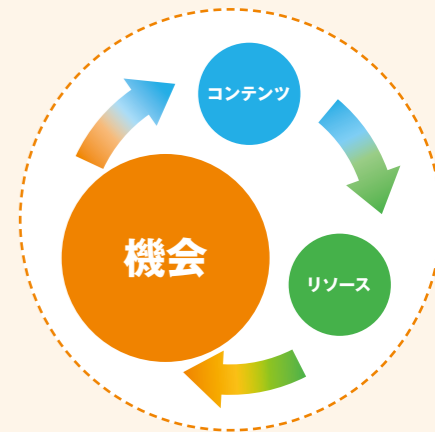
5大陸20カ国32名の世界のアスリート自身の“TRUTH”

OPPORTUNITIES

# 機会

スポーツの価値  
体験・体感・体現

スポーツの価値を  
つなぐ



## PLAY TRUE リレー

“PLAY TRUE リレー”は、PLAY TRUE 2020を代表するプロジェクト。世界中のアスリートたちが、「TRUTH(真実)」を世界に・未来につなぐプロジェクトです。

「スポーツにみる真なる価値とは何か?」、「未来につなげたいスポーツの価値とは?」を真なる価値のメッセージとして、世界のアスリートたちがオリジナルの巻物に記し、リレーしてきました。

2014年に室伏広治さん(現スポーツ庁長官)が巻物にく制限の中から生まれる美(Rules Breed Beauty)と書き記し、リレーがスタート。世界5大陸20カ国32名のアスリートたちが巻物をリレーしてきました。インタビューを通してアスリートがスポーツの価値に改めて向き合うことで、「リアルチャンピオンになる意味とは?」「スポーツを通して社会にどのような良い影響を与えられるか?」「スポーツの未来に向けた行動とは?」など様々な観点から、自分自身の体験を踏まえ自身の考えを言葉にし世界に向けて発信してきました。

巻物は、波状に向かい合う2本の曲線からなる「立涌(たてわか)」文様があしらわれ、果てしなくつながっていく「立涌」の軌跡とアスリートたちのTRUTHが世界へ、未来へとつながっていく様子を表しています。

東京2020パラリンピック競技大会中に設置した“PLAY TRUE Planet: SPORT & ART”ブースでの展示の後、巻物は文部科学省の建物内「情報ひろば」にて常設展示されています。



情報ひろば

## IFパートナーシップ:教育、アスリートエンゲージメント

東京2020大会に向けて国際競技連盟(International Federations: IFs)が主催する世界選手権やテストイベント等の大会で、IFと協働して「Event-Based Education(競技大会における教育)」を実施してきました。IFのアスリート委員らとも一緒に教育活動を行い、「クリーンスポーツパートナーシップ」の推進を図ってきました。IFのSNSや機関紙等や、PLAY TRUE リレーアスリートからの発信、アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピングセミナーでIFの担当者がスピーカーとして“Win-Win”の関係性の重要性を伝えていくことなどを通して、教育に関する国際基準(ISE)に定められている「Event-Based Education」の推進のためNADO x IFのパートナーシップの好事例を生み出してきました。

### コラボレーションパートナー

BWF / FIG / FIH / FISE / FIVB / IBSA / ICF / IIHF / IJF / ISA / ISU / ITTF / ITU / IWF / WA / WBSC / WPP / WPV / WR / WWR など

### パートナーシップ例

#### 国際体操連盟(FIG)

東京2020大会のテストイベントとして開催された、シニアとジュニアの世界選手権で、アスリートとサポートスタッフら1,500名以上を対象に「Event-Based Education」を実施。インタラクティブに知識を確認するだけでなく、その知識を活用し自身のスポーツへの想いを書き表すことができるアクティビティを実施。また医事委員会・医事担当者への教育セッションと共に、FIGアスリート委員からアスリートラウンドテーブルの際に“i-PLAY TRUE リレー”も行い、包括的なプログラムを実施しました。



→ “Olympic Highlights” (2019年12月20日版)にIFと大会ホスト国NADOとの連携の好事例として掲載  
<https://olympics.com/ioc/news/olympic-highlights-20-12-2019>

#### SHUTTLE WORLD BWF



→ “SHUTTLE WORLD” (BWF 機関誌)の表紙に掲載  
<https://extranet.bwfbadminton.com/docs/document-system/81/82/401/SHUTTLE%20WORLD%20-%20Edition%2023.pdf>

#### 世界バドミントン連盟(BWF)

2012年世界ジュニア選手権が千葉で開催されてから、BWFの国際大会でパートナーシップを組んでいきます。BWFのインテグリティキャンペーンである“i am Badminton”と連携し、アスリートとサポートスタッフへのアウトリーチ活動等を実施するだけでなく、スポーツの価値を訴求するMANGA Movieをホテルと会場への移動中のバスで放映するなど、様々な新しいアプローチも試みてきました。特に、東京2020パラリンピック競技大会の初競技である、パラバドミントンのアスリートらへの教育アクティビティを充実させ、“Win-Win”な活動をお互いに創り出してきました。

## クリーンな東京2020大会を目指したパートナーシップ:情報提供

東京2020大会のすべてのドーピング検査室において、「リアルチャンピオン教育パッケージ」のマンガ検査手順ブスター、動画とリーフレットが掲示・放映され、大会に参加したオリンピック・パラリンピアンに対して情報提供を行いました。大会前には各国と連携し教育活動を実施。このマンガ検査手順教材シリーズ等が東京2020大会期間中に検査権限を有するITAとIPCのウェブサイトにもそれぞれ掲載、情報発信されました。



<https://www.paralympic.org/anti-doping-tokyo2020>

<https://ita.sport/resource/tokyo-2020-doping-control-guidebook/>



東京2020大会ドーピング検査室(JADA撮影)

### MESSAGE



東京2020大会のレガシープロジェクトであり、安倍首相(当時)が宣言したSport for Tomorrowの主要な柱の1つにアンチ・ドーピングが位置づけられたことは、世界のスポーツにとっても、そして記憶としても特筆すべきことです。

日本アンチ・ドーピング機構が数年かけ推進してきたPLAY TRUE 2020は、日本国内のアンチ・ドーピング活動のグッドプラクティスを積極的にアジア・オセアニア地域に伝え、展開していきました。これらの活動の成果があってこそ、東京2020大会の運営において素晴らしいサービスが提供され、大会前の検査や教育活動の実施に多大に寄与したことで、ごく少数のアンチ・ドーピング規則違反しか起きなかった大会が実現されました。

クレイグ・リーディー卿(Sir Craig Reedie)  
 WADA 前会長

# Real Champion Games

## Education Package



[https://www.playtrue2020-sp4t.jp/edu\\_package/](https://www.playtrue2020-sp4t.jp/edu_package/)

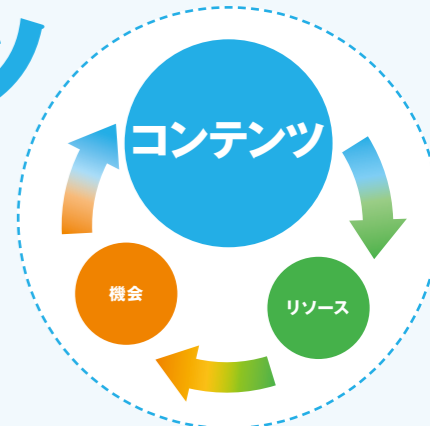
リアルチャンピオン教育パッケージ材料

# Based on... Rules



# コンテンツ

スポーツの価値に気づき  
共有・発信を促し  
スポーツの価値を  
通した人材育成



## リアルチャンピオン教育パッケージ

「言語に依拠せず、理解できる、カスタマイズできる」をコンセプトに、オリジナルのマンガを開発し、スポーツの価値とアンチ・ドーピングのルールの教材(マテリアル)を包括的にパッケージ化することで、教育プログラムを世界的に推進するプロジェクト。オリジナルに制作したマンガやイラストを活用し、どの年齢層・スポーツのパフォーマンス層であっても楽しく、そして分かりやすく学ぶことができるように工夫した教育パッケージです。IFやアジア・オセアニア地域のNADOのみならず、SFTC会員団体が主催するイベントや国際協力関連事業、学校の授業など様々な機会でも活用されています。

## エビデンスに基づく行動変容「フェーズ」 ～社会・スポーツにおけるチャンピオン～



リアルチャンピオン教育パッケージでは、スポーツの価値を体現する社会とスポーツの真のチャンピオン、リーダーの育成を目指しています。「スポーツの価値」を言葉で表現することが難しいからこそ、アクティビティやグループワークを通して、スポーツの価値への「気づき・理解」⇒「表現・共有」⇒「体現」と段階的に学習者の理解を深めていくことができます。この教育目標のフレームワークは、研究から得たエビデンスを基に、教育を受ける対象者(ターゲット)のスポーツや社会との関係性を、7つの段階(フェーズ)に分けています。各フェーズには行動変容の教育達成目標が設定されているため、学習者同士で対話をし、発信すること等を通して、教育活動を通しての評価ポイントや包括的・時系列的に行動変容を確認していくことができます。フェーズに合わせて段階的に教材を組み合わせ活用し、知識の習得だけではなく、スポーツ・社会におけるリーダーを育成することを目指しています。

## リアルチャンピオン教育パッケージを通じた人材育成

SFTの3本柱の1つ「国際スポーツ人材育成拠点の構築」を担う筑波大学のTsukuba International Academy for Sport Studies (TIAS)と鹿屋体育大学のNational Institute of Fitness and Sports Academy (NIFISA)と協働し、スポーツの価値を体現する将来のリーダー育成のため、大学院生への教育を実施してきました。

スポーツの価値/インテグリティおよびアンチ・ドーピングに関する各種の講義は、調査・研究のエビデンスを基盤にして行っています。将来のグローバルスポーツを担う人材として身に付けるべき「スポーツの視点・視野・視座」を養うためのトピックスを、アクティブラーニングと組み合わせたモジュールを設定しています。

講義を通して、学生間で気づきや観点を見つけ出し、自発的に意見を共有することができるよう、スポーツインテグリティやアンチ・ドーピング規則違反に関する事例をテーマとして取り上げ、ディベートやロールプレイング等も行ってきました。学生自身が卒業後に自身のフィールドでスポーツの価値を高められるよう、想定される教育ターゲットや課題を設定し、課題解決や実践につながる講義を各種実施してきました。

TIASでは、「スポーツインテグリティとアンチ・ドーピング」が必修要件でもあることから、卒業生が教育パッケージの教材を使い、子どもたちにスポーツの価値を伝達することを実践するなど、授業を通して獲得した視座を活かす人材が、新たにスポーツの価値を創る活動を行ってきています。

### つくば国際スポーツアカデミー Tsukuba International Academy for Sport Studies (TIAS) “Anti-Doping and Integrity of Sport”



対象: Tsukuba International Academy for Sport Studies (TIAS) 修士課程の大学院生

内容: 課程要件 (10 授業: 毎 90 分) モジュール  
スポーツの価値/インテグリティへの考え方  
WADA “The University Anti-Doping Textbook” を参照としたスポーツの価値を基にしたアンチ・ドーピング教育  
グローバルスポーツとアンチ・ドーピングの関係性  
リアルチャンピオン教育パッケージを活用した課題解決 など

### 鹿屋体育大学国際スポーツアカデミー National Institute of Fitness and Sports Academy (NIFISA) “Anti-Doping and Integrity”



対象: National Institute of Fitness and Sports Academy (NIFISA) の受講生

内容: クリーンスポーツ教育とリーダーシップ、マネージメント  
スポーツの価値/インテグリティへの考え方  
グローバルスポーツとアンチ・ドーピングの関係性  
リアルチャンピオン教育パッケージ (NewMO!) の活用体験など  
“NewMO!” リアルチャンピオン教育パッケージ教材を通じたスポーツの価値アクティブラーニング

## 調査研究活動

スポーツのインテグリティが守られ、クリーンでフェアなスポーツを実現するために、様々な競技レベルや年齢層のアスリート、スポーツ関係者、一般の方々を対象に、スポーツや社会における「フェアネス」や「アンチ・ドーピング/ドーピング」に対する意識や行動様式に関する意識調査、研究を行っています。

これらの調査・研究から得られた結果に基づき、アンチ・ドーピングのルールの情報伝達のみならず、スポーツの価値を基盤とする教育教材を開発・制作し、教育の実践、検証・分析や、エビデンスに基づいたアンチ・ドーピング活動、スポーツの価値・チカラを発信する活動等を国内外で展開しています。



## Sport for Tomorrow 会員団体とのコラボレーション

SFTの強み・ユニークネスである官民の連携の推進をし、SFTC 運営委員・会員団体とスポーツの価値を守り育てプロジェクトを連携して実施してきました。特に、「リアルチャンピオン教育パッケージ」の活用・応用や i-PLAY TRUE リレーを通して人材育成等を行うことで、会員団体とのシナジーを生み出すことを狙いとしてきました。

### 1. 国際協力機構 (JICA)

「リアルチャンピオン教育パッケージ」をアジア地域にある拠点オフィスへ設置。各国に派遣される隊員向けの事前研修にて現地の状況に合わせた活用方法を説明しました。また、COVID-19の影響を受けて、一時帰国した隊員等を対象にしたオンラインワークショップを JICA と連携して実施し、東京 2020 大会に参加する各国のアスリートらへの教育支援にもつなげてきました。

### 2. 株式会社サニックス

サニックスワールドラグビーユース交流大会に出場する各国の高校生年代のアスリートが、教育パッケージのコンテンツを活用して、スポーツの価値の意味をロールプレイし、チームごとでプレゼンテーションを実施。自身の生活やラグビー競技で体現したい「スポーツの価値」について考え、仲間と共有し、世界に発信する機会としました。

### 3. 帯広市

市役所や帯広空港などで、i-PLAY TRUE リレーブースを設け、地元出身のアスリートや企業などからも「スポーツの価値」についてメッセージを発信し、広く市民が考える機会を創ってきました。

### 4. 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

2015年に山口市で開催された第23回世界スカウトジャンボリーを始め、国内外の様々なイベントでリアルチャンピオン教育パッケージのコンテンツ (NewMO! や MANGA ムービー) を活用し、スカウト運動の理念にもつながる「スポーツの価値」として発信してきています。



2016



2017



2018

2020

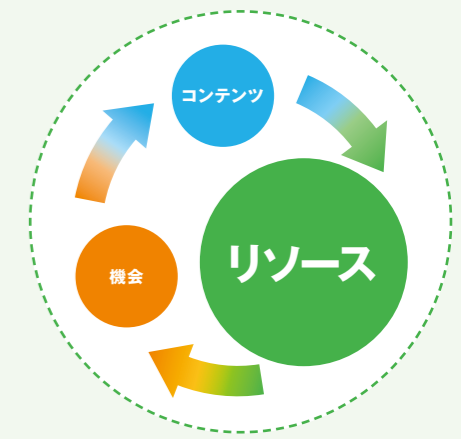
2021

アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピングセミナー参加者

R  
E  
S  
O  
U  
R  
C  
E  
S

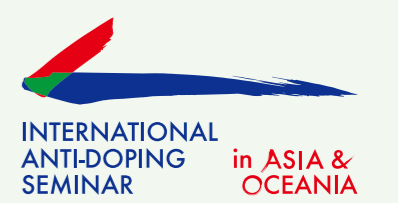
# リソース

クリーンでフェアな  
スポーツの環境づくり、  
ナレッジの継承



## 国際セミナー

2008年からアジア・オセアニア国際アンチ・ドーピングセミナーを毎年開催。アジア・オセアニア地域を中心とした各国のアンチ・ドーピング機関におけるキャパシティディベロップメントとネットワーク形成を目指し、クリーンでフェアなスポーツの環境の世界的な整備を目的として開催しています。



**ロゴコンセプト・ストーリー**  
このロゴは、JADAがアジア・オセアニア地域のアンチ・ドーピングプログラムをけん引し、クリーンなアスリートやスポーツを守り、スポーツインテグリティを育むことをイメージしています。  
赤=アジア・オセアニア地域  
青=JADAのコアカラー  
緑=スポーツインテグリティや競技場の芝の緑、そして平和をそれぞれ意味しています。

### セミナーのテーマ

- 2021**  
Legacy Creates Our Future for Clean, Fair and True Sport
- 2020**  
Are you READY!? - for 2021Code / ISs and the next CCQ
- 2019**  
CREATE LEGACY TOGETHER:  
For Clean, Fair and True Sport with the 2021Code
- 2018**  
Athlete Engagement and their Rights & Achieving the Code Compliance: Steps for the 2021Code
- 2017**  
Implementing Effective Education Activities & Strategic DCO Management Towards 2020
- 2016**  
World Anti-Doping Code Monitoring and Effective and Quality Practice through Partnerships & PLAY TRUE 2020 Week open event
- 2015**  
Achieving a Quality Practice with 2015 Code and Engagement & Intelligence Workshop in Asia and Oceania

## 国際会議・国際セミナーの開催を通じた クリーンスポーツの世界的な推進

国際会議・国際セミナーの開催を通して、クリーンでフェアなスポーツ環境の世界的な整備のため、アンチ・ドーピング機関のキャパシティディベロップメントのみならず、多様なステークホルダーとの連携やエンゲージメントの推進などを図ってきました。毎年、国際セミナーでは、WADA会長やディレクター等から直接的にアジア・オセアニア地域に対するメッセージや最新情報・戦略について共有されています。質の高いアンチ・ドーピング・プログラムのための実践的な知識やノウハウの提供、“アスリートによるアスリートのための”活動推進をするための好事例等を共有し、各国のプログラムへの活かし方などを議論してきています。

また、パブリックヘルスを守り推進し、スポーツの価値を体現するリーダーアスリートの育成やスポーツの価値を通じた社会課題の解決を目指す各種の国際会議や、ワークショップなども開催してきました。アンチ・ドーピング機関に加え、アスリート、製薬業界、薬剤師、医科学関連機関、(スポーツ)NGO、教育機関など、スポーツが安心・安全であることを支えるステークホルダーとも連携を図ってきています。



### 東京宣言 第2回製薬業及びアンチ・ドーピングに係る国際会議 ～クリーンスポーツ、社会のための新たな展開～

クリーンなアスリートの権利と健康を守り、パブリックヘルスのため、医薬品の不適切使用(乱用、目的外使用)の側面を持つドーピングの危険性から社会を守っていくことに対して、スポーツやアンチ・ドーピング関係機関、製薬業界、各国政府、関係国際機関が協働し、実効性の高い連携関係を構築することの重要性が強調されました。この国際会議を契機に、2021年までに日本に本社がある製薬会社3社が開発途中にある新薬などの情報共有を行う覚書をWADAと締結しています。

→ <https://playtrue2020-sp4t.jp/jp/static/report20150128/>

### WADA 常任理事会開催

2019年9月にWADA常任理事会を東京で開催。WADA設立1999年以来アジア大陸代表として日本政府がWADA常任理事のメンバーとして、WADAの最高意思決定権を担ってきたことから、日本のアンチ・ドーピングへのコミットメントを世界に示す機会となりました。

WADA常任理事会の翌日アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピング・セミナーを開催し、WADA会長やディレクターも参加しました。

→ <https://playtrue2020-sp4t.jp/jp/static/report20190924/>



### 国際アスリートフォーラム for 2020

アスリートがスポーツの価値やチカラについての考えを共有し、スポーツの未来へのメッセージを世界に向けて発信することを目指し、東京2020大会組織委員会若手アスリート参画プロジェクトの一環として2日間で開催。1日目は、18か国200名を超えるスポーツ関係者やメディア等が参加。2日目はJADAアスリート委員会が中心となり作った“NewMO!(新しい相撲)”ースポーツを自ら創り、その価値を身体を動かしながら体験・発信できる新しいスポーツーを、ユースアスリートとリーダーアスリートが体験・体感・体現する機会となりました。アスリートの意見を取り入れさらに発展させたNewMO!は、楽しく話し合いながらスポーツを創り、自ら価値を創る体験ができる価値教育のアクティビティとして展開されています。

→ <https://playtrue2020-sp4t.jp/jp/static/report20151001/>



## キャパシティディベロップメント

アジア・オセアニア地域の各国アンチ・ドーピング機関のキャパシティ育成を目的とした、アンチ・ドーピング機関のスタッフに対するワークショップ等を実施。各国の組織強化、教育計画の策定、Educatorや人材育成、教材の提供など各国のニーズに合わせて支援を継続的に行ってきています。

JADAは、東南アジア地域、西アジア地域、中央アジア地域における地域アンチ・ドーピング機関(Regional Anti-Doping Organisation, RADO)と覚書(Memorandum of Understanding, MOU)を締結し、各RADOの加盟国NADOへの包括的な支援を推進しています。

### 東南アジア RADO: SEARADO

2010年シンガポールで開催された第1回ユースオリンピックゲームズにおける、アンチ・ドーピング・プログラムの支援から、継続的に東南アジア地域への支援を行ってまいりました。2014年に初めて2者間で正式に覚書を締結。2017年には東京2020大会組織委員会を含めた3者間の協力・連携として、特に東京2020大会に向けた知見・経験を共有することを目的としました。JADAによりドーピング検査の研修・実践経験を積んだSEARADO加盟国の検査員(DCO)が、東京2020大会での検査実施に大きく貢献しました。

2022年1月には2者間で3回目の覚書を締結し、東京2020大会のレガシーの継承、スポーツの価値の教育の推進等を通して、クリーンスポーツ環境の整備をしています。

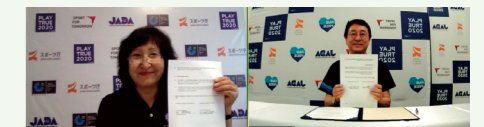
加盟国 インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス



### 中央アジア RADO: RADOCA

2020年1月に中央アジアRADOとJADAの2者間で覚書を締結。中央アジア地域とは、2012年の国際セミナーへの招へいから支援が始まりました。RADOCA加盟8カ国のアンチ・ドーピング機関のキャパシティディベロップメントを目指し、特に教育プログラム支援や人材育成を行ってまいりました。特に2021世界アンチ・ドーピング規程や教育に関する国際基準の施行に伴い、教育計画の策定に向けたワークショップ等をオンラインで開催。国際セミナーの開催後は加盟国向けにフォローアップ会議を実施するなど、加盟国の状況も踏まえた質の高い規程遵守に向けて支援を行っています。

加盟国 アフガニスタン、ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、パキスタン、モンゴル



### 西アジア RADO: WARADO

2020年1月にヨルダン・アンチ・ドーピング機構を通じた西アジア地域の支援、特に医療従業者への教育充実を目指し覚書を締結しました。

本覚書は、国際セミナーでの意見交換、また2015年にヨルダンNADOや関係者が日本国内で展開するスポーツファーマシスト事業の視察を行ったこと等を契機とし、WARADOスタッフの招へいやワークショップを行ってまいりました。ヨルダンでは、「リアルチャンピオン教育パッケージ」を活用し、国内での教育活動の拡充が図られると共に、継続的に情報提供や人材育成を行ってまいりました。

加盟国 イエメン、イラク、シリア、パレスチナ、ヨルダン、レバノン



### 3か国間連携: 日中韓

中国・韓国・日本のアンチ・ドーピング機関が、オリンピック・パラリンピック競技大会開催からのレガシーを継承し、クリーンスポーツ環境を整備するための協力体制を構築するために3者間の覚書を締結しました。3か国のアンチ・ドーピング機関の間で知見・情報を共有し、人材交流を進め連携強化を図り、スポーツの価値を発信しています。

